

参加者の声



ヒッポファミリークラブは1981年設立。日本全国に活動拠点があります。40年以上「多言語を自然に楽しく覚える活動」「ホームステイ・留学など国際交流活動」をしています。



家族みたいな雰囲気

自分は英語が苦手な孫が将来同じように苦労したらかわいそうだと思っていました。

家でも少し英語を教えてみたけどうまくいかず。そんな時 YouTube でヒッポを知って体験参加。遊びが中心で楽しいのに子供も大人もいろんな言葉話してビックリ。参加して1年、引っ込み思案だった上の孫が社会的に。年齢も国も様々な人がいる中で「自分は自分のままでいい」と感じたようです。下の孫は家でも「アンニョン」「再見」など言います。参加していなかったら今でも行動範囲が狭いままだったと思います。家族みたいで気兼ねないのが一番です。
(宮崎市 Yさん 息子、小2, 5歳の孫と参加)



言葉に対する壁がなくなりました

「いろんな言葉が家で流れている環境」というのを初めて聞き興味を持ちました。体験参

加して気に入ったのは多言語を使うゲーム。純粋に子どもが楽しんでいる中に多言語が入っていいなと思いました。「まずは英語をしっかりとマスターせねば」と思っていたけど、今は「いろんな言葉を少しずついい、覚えたことだけでもいい」と思うように。また一言話すにも「正しいかどうか」が気になっていたけど、あまりこだわらなくなりました。息子はみんなが話をしっかり聞いてくれるので話すことに自信がついたようで、今はマイクを持って堂々と話しています(宮崎市 Fさん 高2小3の息子と参加)



チャンスがたくさん ホームステイもオンラインも

前は「英語を話さなきゃ」と思っていたけど今は「英語もたくさんある言葉の一つ」。ヒッポをしていなければ娘にも英語を強制して英語嫌いにさせていたかもしれません。毎週参加するサークル活動と一緒に子育てする安心できる場所。オンラインでの活動もあって県外や海外の人とも交流できるのも良い点です。今年韓国の青年を我が家でホームステイ受け入れ、心が通う体験をしました。娘も彼が大好きで受け入れ中はいつも一緒。以来、娘の口から韓国語が出るのが増えました。ヒッポは「習い事」ではなく「チャンスがある所」だと思います。(宮崎市 Hさん 6歳の娘と参加)



言葉の環境も、人の環境も

子供には早くから外国語にできるだけ多く触れてほしいと思っていました。参加したら、子供は韓国のじゃんけんとかインドネシアの掛け声とかをすぐ真似して言うように。先日家族でディズニーランドに行ったら外国人ばかりで、フランス語か何か聞き覚えがある音が聞こえて「これ家で流れている音だね」となりました。音が拾えたのが嬉しく「これはいける」という予感がします。「多言語をやっている」というと、「意識が高い、教育熱心」と思われがちですが、全くそんなつもりはなくて本当に楽しむためにやっています。ここには「多言語が当たり前、海外は身近」な人たちがいて、「人の環境」も含めて「環境って大事だな」と思っています。(宮崎市 Nさん 小3娘、小1息子と参加)



倉牧子と申します。「ヒッポ宮崎」を22年間主宰しています。この活動で多くの方が、視野の広さ、柔軟性、積極性、自主性を身に付け成長しています。話せることは人生の可能性を広げます。ぜひ多言語がある環境を体感しに来てください♪♪ ↓



写真左

スピーカー

写真右 音源(SD)

←多言語が
聞こえる環境

多言語を話す環境→

定例活動や交流で人と多言語で遊んだり話したり



☆お申込み・お問合せ☆ヒッポファミリークラブ宮崎

0120-557-761 (フリーダイヤル平日 10~16時)

またはHPから <https://hfcw.jp>

宮崎ヒッポ公式ラインからの申し込みがおススメ→
「ワークショップ参加」と書いて送って下さい。

